

SUNHAK
PEACE
PRIZE

難民との共存

LEARN & ACT

私たち皆が直面している問題

- 子供の名前はアラン・クルディ、シリア内戦を逃れてヨーロッパに脱出しようとしたが、トルコの海岸で遺体で発見された3歳の子供
- この子供の死は誰のせいといえるだろうか？



UNHCR/Yante Ismail

難民危機

- 難民について聞いたことはありますか？
- 難民とはどんな人たちを指す言葉でしょうか？
- 難民問題は私たちとどんな関連があるのでしょうか？



Shutterstock photo

1. 難民とはどんな人々なのだろうか？



Shutterstock photo

- 難民：戦争、テロ、極度の貧困、自然災害または政治的虐待を逃れて他の国に行く人々(国連難民条約第1条)

cf) 移住民



2. 難民はなぜ国を離れるのだろうか？

- 戦争難民：シリア難民、ソマリア難民、アフガニスタン難民
- 政治難民：イエメン難民、クルド難民、ベネズエラ難民
- 宗教難民：ロヒンギャ難民
- 気候難民：キリバス難民



Shutterstock photo

3. 難民はいつから?(20世紀以降の難民の歴史)



Shutterstock photo

- ユダヤ人難民(1934年):ドイツ・ナチ政権の迫害から逃れるため250万人の難民が発生
- パレスチナ難民(1948年):パレスチナ地域にユダヤ人がイスラエルを建設し、70万人の難民が発生

3. 難民はいつから?(20世紀以降の難民の歴史)



@Wikipedia

- ベトナム難民(1973年～1988年):南ベトナムが共産化することにより、これを逃れて100万人の難民が発生
- ルワンダ難民(1990年ルワンダ):ルワンダ種族間の葛藤が戦争に拡大し、300万人の難民が発生


4. 難民はどれくらい多くいるのか?(2024年基準)

- 全世界人口の1.5%
- 15年間で3倍に増加
- 難民最多排出国: シリア、イエメン、アフガニスタン、南スーダンなど



Shutterstock photo

5. 子供と青少年の難民

- 全難民の1/2
- 子供たちを脅かすもの
- 教育を受ける権利 



Shutterstock photo

6. 難民発生地域ではどんなことが起きているのか？



Shutterstock photo

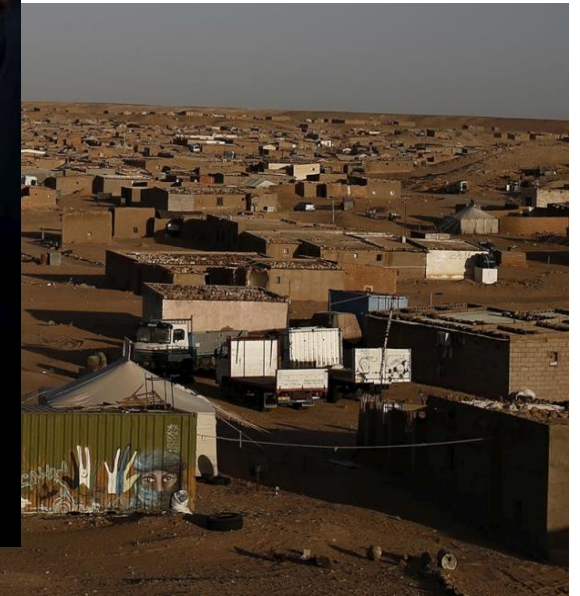
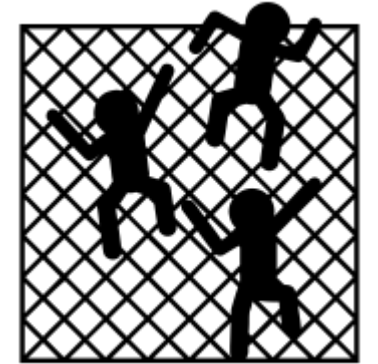
- シリア:2011年以降内戦が長期化(難民500万人)
- アフガニスタン:数多くの戦争と頻繁なテロ(難民640万人)
- ミャンマー:政府のロヒンギャ族差別政策と人種虐殺(難民70万人)

7. 生活の基盤を離れた後には どんなことが待っているのか？

- 危険な脱出と移動
- 難民キャンプ
- 亡命申請
- 難民の強制送還



UNHCR photo/G. welters



UNHCR photo/Zohra Bensemra

9. 難民を助ける方法にはどんなものがあるだろうか？

- 待機所の提供
- 身元の確認および登録
- 健康管理
- 教育の機会提供
- 擁護活動
- 緊急救護



UNHCR photo/Haidar Darwish

10. 難民を助ける団体

- 国連難民機構：1949年に国連総会で創設された代表的な国際難民救護団体
- 1億2千万人ですの難民と保護対象者を救護(2024年基準)



UNHCR photo/ Achilles Zavallis

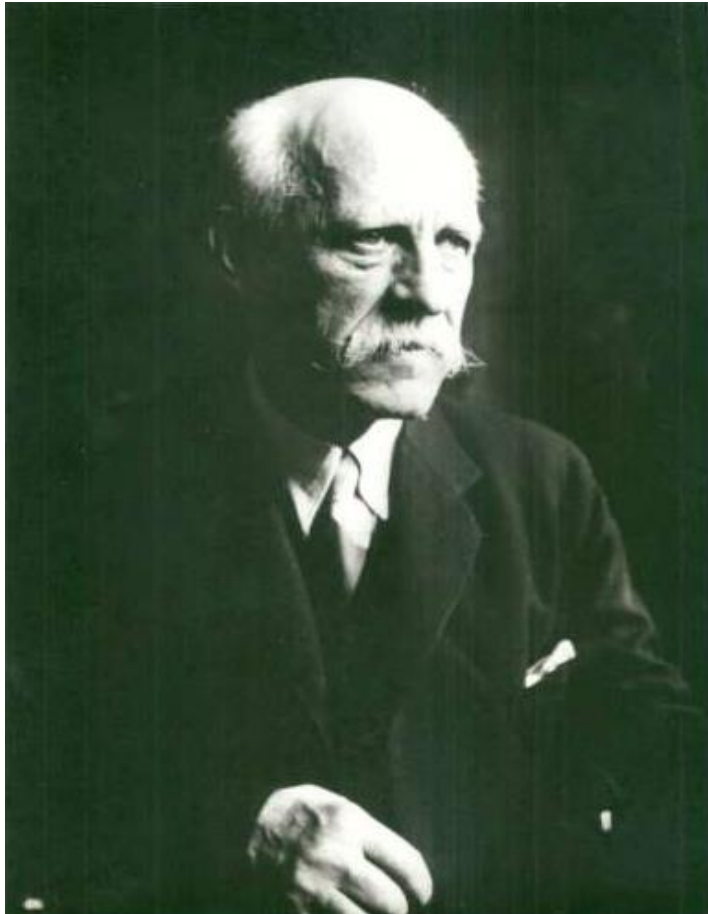
10. 難民を助ける団体

- ホワイトヘルメット:2014年にシリア消防隊員が自発的に組織した市民防衛隊
- シリア内戦現場で生き埋めになった人々を救助



The White Helmets photo

11. 難民を助ける人々、フリチョフ・ナンセン



UNHCR photo

- ノルウェーの探検家かつ外交官 (1861~1930)
- 「ナンセン・パスポート」事業を通じて45万人の難民を救済
- 1922年、ノーベル平和賞受賞

11. 難民を助ける人々、サキナ・ヤクービ

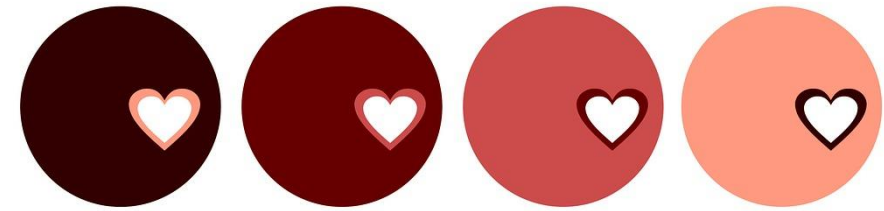


©sunhakpeaceprize.org

- アフガニスタン難民出身の女性教育家
- アフガン学習研究所を設立し、21年間で1400万人のアフガン難民を教育
- 2017年、鮮鶴平和賞受賞

12. 難民を受け入れるべきか？

拒否するべきか？



REFUGEES WELCOME

- 賛成世論：国家経済に助力、世界市民として当然の義務

- 反対世論：国家経済に負担、社会的不安要素が増加




13. 難民に対する私たちの姿勢はどうあるべきだろうか？



UNHCR photo/Ivor Prickett

- 世界市民として:世界市民意識を持ち、多様な連帯を通して難民問題と向き合う
- 私たち皆がいつか難民であったり、今後難民になり得る立場

シリアの少女、ナーマツ・ハマウイのストーリー 



レバノン・シャティーラキャンプ 